

サマーレビュー2017 調書

| | |
|-----------------|--|
| 1 部局名 (課名) | 学校教育部 (指導課) |
| 2 協議事項 (案件名) | 不登校児童生徒の支援体制の充実について |
| 3 背景・現状 | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の不登校児童生徒数は年々増加し、現在 1,000 人を超え、喫緊の課題となっている。 ・主な要因は、学校での対人関係の問題、学習のつまずき、生活リズムの乱れ、家庭環境等の問題であり、様々な要因が複合的に絡まっている場合が多い。 |
| 4 検討経過・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・本年度第 1 回総合教育会議にて、校内の居場所としての校内適応指導教室、校外の受け皿としての適応指導教室が効果を上げていることが確認された。 ・校内適応指導教室や適応指導教室の増設及び専門性の高い指導員の確保が課題であることが指摘された。 ・本年度より試行的に取り組んでいる不登校未然防止のための対人関係トレーニングの普及も必要である。 |
| 5-1 方向性の提案 | <ul style="list-style-type: none"> ① 校内適応指導教室 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の 2 校を、平成 34 年度までの 5 年間で 30 校程度まで増設を目指す。設置の対象は不登校児童生徒数の多い学校とする。 ・幅広い支援ができるように、指導員の待遇も見直す。 ② 適応指導教室 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の 6 教室を、平成 31 年度までに 9 教室に増設する。本年度中に 1 教室、平成 30 年度に 1 教室、平成 31 年度には発達障害児対応の教室を開設する。 ・更なる支援の充実を図るため、質の高い指導員の確保が必要であり、待遇を見直す。 ③ 対人関係トレーニング <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドライン化、プログラム化して学校に周知し、現在実施している学校（小学校 11 校、中学校 5 校、計 16 校）の中学校区に広げ、来年度 5 校程度、実施校を増やしていく。 ・教職員研修を導入する。 |

| | | |
|--|--|--------------|
| <p>5-2 論点</p> <p>方向性の決定 に向け議論 する事項</p> | <p>① 校内適応指導教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置計画の規模とスケジュール ・ 専門性の高い指導員の確保策 <p>② 適応指導教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松市全域のバランスを踏まえた増設 ・ 専門性の高い指導員の確保策 <p>③ 対人関係トレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校現場で誰でも実践できるようなガイドライン化、プログラム化。 <p>核となる教員の育成。</p> | |
| <p>6 結果</p> | <p><input type="checkbox"/> 提案どおり進める</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> | <p>具体的内容</p> |
| <p>7 その他</p> | | |